



小郡市立大原中学校だより

大為小積



令和4年 弥生 15日
第29号
校長 矢野 晴一

学校教育目標:「自ら考え、自ら判断し、自ら行動しようとする子どもの育成」※「考動」

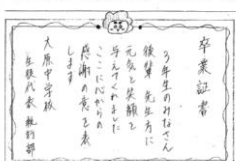
「河口から大海原へ・・・！」 第75回卒業証書授与式



3月11日(金)、学校運営協議会のみなさまや保護者のみなさまに見守られながら、**第75回卒業証書授与式**が挙行されました。

三年間、仲間とともに学び、たくさんの思い出をつくった学舎を、別れを惜しみながらも全員が胸を張って巣立っていきました。万感の思いを胸に歌った「河口」は、感謝や決意に満ちあふれ、会場を感動でつつみ込みました。卒業生代表の答辞の一部を紹介します。

生徒会新聞 2月号



答 辞 (一部抜粋)

私たちは、さまざまな逆境を通じ、自ら考え、「**考動**」する力を身につけることができました。そして、なにげなく過ごしていた当たり前の日常が、かけがえのない大切な時間であったのだということにあらためて感じました。

大原中学校での経験を通して、私たちは、「**仲間**」という宝物を見つけ、新しい一歩を踏み出す勇気を得ることができました。そして、どんなときも私たちを支え、応援してくれた人たちがいたおかげで、三年間の中学校生活をのりこえることができました。

さまざまな困難をともに乗り越え、本音で語り合うことのできた仲間たち。私は、ここにいる仲間と三年間を過ごせて幸せでした。当たり前のように毎日顔を合わせていた人たちと、当たり前のように会える日は今日が最後となってしまいました。私たちは、大原中学校から自らが選んだそれぞれの道へと飛び立ちます。その道の途中で慣れないことに戸惑ったり、迷ったりすることもあるでしょう。けれども、この三年間大原中学校で頑張ることができたという**誇り**と、苦しみも喜びもともに味わってきた**仲間の存在**、そして、**決して一人ではないという思いを胸に、前を向いて新たな道へと、進んでいきたいです。**

在校生の皆さん、今まで私たちと共に過ごしてくれてありがとう。大原中学校の先輩方が繋いできた伝統ある大原文化を受け継いで、皆さんらしい大原中学校をつくりあげていってください。

最後に、今まで支えてくださったすべての人への**感謝を忘れず、人生という長い旅路を前向きに歩んでいくことを誓い**、別れの言葉とさせていただきます。

第75回卒業生代表

子どもたちの成長は、保護者のみなさま、地域のみなさまに温かく見守っていただいた賜であると、深く感謝申し上げます。中学校を卒業しても、この地域で成長していく子どもたちに、今後も今までと変わらないご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

「出席はできないけれど・・・！」 心をこめて卒業式の準備

卒業式を前にした3月初旬、生徒会室をたずねると、常に2年生のリーダーたちが活動を行っています。

3年生に贈るメッセージを作成するグループ、会でのあいさつを考えている人、ビデオメッセージを編集している人・・・。

本年度も卒業式は在校生の出席を制限しました。

「それなのに」、いや、「だからこそ!」、懸命に準備している2年生や1年生のリーダーたちの姿が輝いてみえました。**最上級生に向かう2年生、先輩と呼ばれるようになる1年生の姿**が、とても頼もしくみえました。



「感謝の心をこめて襷をつなぐ・・・！」 おくる会 開催



3月9日（水）、お天気にも恵まれた春の陽気の中で「**3年生をおくる会**」が開催されました。この会は、「卒業していく3年生へ**感謝の気持ちを伝えること**」「3年生の**思いを受け継ぐこと**」を目的としています。

はじめに生徒会の役員みんなが作成してくれたメッセージムービーを鑑賞した後、3年生は体育館から中庭へ、1、2年生は教室からベランダへ移動し、プレゼントの贈呈や合唱の交流が行われました。

例年通りとはいかない中で、生徒会の新しい役員の子どもたちは、状況に応じたいくつものパターンを考えぬいて準備をしてくれました。制限の多い中、早朝や放課後の時間を使いながら活動が行われていました。目の前の困難に対して、**不安な顔をいっさい見せることなく笑顔で取り組んでいた子どもたちの姿がととても頼もしく感じられました。1、2年生の新しい力を感じました。**

心に響く歌声を聴きながら、この会は、1、2年生が3年生をおくる会であるとともに、**大原中学校の全員が全員に対して感謝の気持ちを伝える会**なのではないかと思いました。一つの行事をふんばってやりとげた2年生の子どもたちの表情がととても印象的でした。

体育館での全校集会ができない状況の中、このおくる会は全校生徒が一堂に会する数少ない機会でした。とても温かい気持ちになれたすてきな会になりました。

校庭に 集う生徒の 声響く
互いにおくる 感謝の気持ち
晴一

「毎日おいしい給食をありがとうございます！」



市学校給食センターへのメッセージ

3月3日（水）、みんなで作った「**感謝のメッセージ**」を、代表して生徒会給食委員長の **さんと さん**が小郡市学校給食センターに届けにうかがいました。

1,700名を越える小郡市内の中学生に毎日おいしい給食を届けてくださっています。栄養のバランスを考えながらたくさんの量を調理することは、とてもたいへんなお仕事だと思います。

大原中学校は、残食がほとんどありません。私は、毎日全部のクラスの食事の様子を見て回りますが、みんな本当においしそうに食べています。これからも、**感謝の気持ちを忘れることなく**毎日の給食を楽しみたいと思います。

小さいけれど大きな感動・・・その29 温かい地域の思い

昨年度の「**ありがとうの花束**」メッセージに続いて、本年度は、「**あなたの思いを伝えよう**」メッセージの取組が行われました。これは、子どもたち一人一人の**今の思い**をこめたメッセージカードを集めたものです。

また、各教室にメッセージ付きのお花もいただきました。

ほとんどの行事が制限された中で、「**子どもたちのために何かできないか**」と考え抜いて取り組んでいただいたものです。

私たちは、たくさんの地域のみなさまから見守っていただいているとともに、いつも応援していただいているのだということをあらためて実感することができました。

